

市議会 だより

令和元年6月定例会報告

鶴ヶ島市議会



子どもたちの明るい未来を願って

7月5日、脚折児童館で七夕会が行われ、願いを込めた短冊が飾り付けられました。

第2回定例会でも、子どもに関係する多くの一般質問が行われています。

少子化が叫ばれていますが、子どもたちの明るい未来を願う気持ちは変わりません。

目次

| | |
|--------------|----|
| 6月定例会報告 | 2 |
| 委員会審査(条例) | 2 |
| 委員会審査(補正予算) | 3 |
| 市の考えを問う 一般質問 | 3 |
| 市議会杯少年サッカー大会 | 10 |

農業交流センターへの指定管理者制度の導入経費など
一般会計補正予算を可決！



| | | |
|----------|--------------------------|--|
| 5/28 | 本会議 | 開会 議案第30号～第41号を上程 |
| 30 | 本会議 | 議案第30号～第32号、第34号及び第38号を採決 議案第33号、第35号～第37号及び第39号～第41号を委員会付託 |
| 6/4 | 総務産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会 | 付託議案審査 |
| 6 | 予算決算常任委員会 | 付託議案審査 |
| 13・14・17 | 本会議 | 一般質問 |
| 18 | 本会議 | 議案第33号、第35号～第37号及び第39号～第41号を採決 閉会 |

令和元年第2回鶴ヶ島市議会定例会が5月28日（火）から6月18日（火）までの22日間の会期で開催されました。
本定例会では、市長提出議案12件を審議しました。
また、一般質問を3日間にわたり行い、14人の議員が登壇しました。

令和元年第2回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

| 議案番号 | 議案の名称 | 議員名等 | 審議結果 | 新政治クラブ | | | | | | | | | | 賛成 | 反対・賛成せず | | | | | | | | |
|--------|--|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|----|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 持田 靖明 | 小川 茂 | 杉田 恭之 | 高橋 剣二 | 金泉 貴子 | 藤原 建志 | 出雲 敏太郎 | 内野 嘉広 | 近藤 英基 | 大曾 根英明 | | | 漆畑 和司 | 山中 基充 | 松尾 孝彦 | 小林 ひとみ | 太田 忠芳 | 石塚 節子 | 大野 洋子 | 長谷川 清 |
| 議案第30号 | 農業委員会委員の任命について(岡野 とし子氏) | 同意に決す | 同意に決す | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第31号 | 農業委員会委員の任命について(川鍋 あきと 昭人氏) | 同意に決す | 同意に決す | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第32号 | 鶴ヶ島市手数料条例及び鶴ヶ島市行政不服審査制度に係る書面の交付に関する手数料条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第33号 | 鶴ヶ島市税条例等の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第34号 | 鶴ヶ島市都市計画税条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第35号 | 鶴ヶ島市介護保険条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第36号 | 鶴ヶ島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第37号 | 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第38号 | 坂戸、鶴ヶ島下水道組合規約の一部を変更する規約について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第39号 | 令和元年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第1号)について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第40号 | 令和元年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |
| 議案第41号 | 令和元年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 | 0 |

委員会審査
条例

鶴ヶ島市税条例等の一部を改正する条例について

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税における環境性能割の特例措置及び種別割の軽減対象の見直し並びに個人の市民税における未婚のひとり親の非課税措置に係る規定の追加等をするものです。
未婚のひとり親の非課税措置
該当者数と、その影響額は。
A 税務課長 最多で6人程度、約16万円の減収を見込む。

鶴ヶ島市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、第1号被保険者のうち低所得者について、令和元年度及び令和2年度の保険料を減額賦課するための保険料率を定めるものです。
対象とその人数、減額分の公費での対応は。
A 高齢者福祉課長 対象は、介護保険料の段階区分が第1段階から第3段階までで、4475人と推計している。減額は、一般会計から繰り出して対応する。

鶴ヶ島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

市の考えを問う 一般質問

6月13日・14日・17日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。

議案第37号
に関する条例の一部を改正する条例
について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員になることができる者の基準を改正するものです。

Q 改正による放課後児童支援員の確保と質の担保への影響は

A **こども支援課長** 研修受講機会は増えるが、支援員の資格要件に変更はないため、質への影響はないと考えている。

非常勤職員の報酬及び費用弁償に

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等の報酬額を改定するものです。



令和元年度の一般会計補正予算(第1号)、国民健康保険特別会計補正予算(第1号)及び介護保険特別会計補正予算(第1号)が可決されました。

一般会計(第1号)

Q

鶴ヶ島市は、国保運営をどうするのか

おおた 太田 忠芳 議員



A

新国保制度の趣旨に沿って保険税率等を改正していく

問 全国の国民健康保険税引上げの状況は、県単位化によるものか。

答 平成30年度に保険税率を引き上げた市町村は約23割、引下げは約29割であり、各市町村における様々な要因等を踏まえて税率改正が行われたものと考えられる。

問 大幅引上げになる原因は、埼玉県内5団体の引上げは、

自動体外式除細動器整備事業

Q 公共施設の自動体外式除細動器(AED)の利用状況は。

A **保健センター所長** 設置を始めた平成18年度から現在まで6件である。

陸金地区地域整備計画等策定事業

Q 計画策定の方向性は。

A **都市計画課長** 区域全体の区画整理ではなく、地域の実状に応じた整備手法をとる。道路計画などについても地域の方の意見

を伺い、合意形成を図りたい。

債務負担行為(農業交流センター管理運営委託)

Q 多様化する市民ニーズと期待する民間のノウハウとは。

A **産業振興課長** 農業技術等に関する利用者の質問等が多様化・高度化しており、専門的な知識による対応や作物の販売に関するノウハウの還元を期待している。

Q この時期に委託する理由は。

A **産業振興課長** 23年度に指定管理者制度への移行を可能とする条例改正を行ったが、第5次

鶴ヶ島市総合計画のリーディングプロジェクトとした水士里(みどり)の構築に関連した事業を推進するため、移行を見送ってきたものである。

国民健康保険特別会計

国民健康保険事務費に要する経費を補正するものです。

介護保険特別会計

低所得者の保険料の軽減に伴い、一般会計からの繰入金等を補正するものです。



問 標準保険税率による年収400万円の4人家族の税額は。

答 当該年収の30代夫婦と子ども2人の世帯の年税額は、38万1000円となるが、本市の改正後の税率では31万7600円となる。

問 保険税率の見直しにどう臨む

答 保険税率の統一化に向け、赤字補填のための法定外繰入金を令和5年までに段階的に解消していく予定であり、標準保険税率との乖離は、国民健康保険財政調整基金を活用しながら解消したい。



Q

保育所や学校の安全を確保するために

おの 大野 ひろこ 洋子 議員



A

家庭や地域と協力し、子どもの安全を守っていく

問 事故事例を共有し、リスクマネジメントを進めているかを問う。

答 5月8日、滋賀県大津市で、散歩中の保育園児2人が交通事故で亡くなった。保育所と保育園の事故後の対応は。

問 事故発生の翌日、各保育所及び保育園に対し、安全点検の実施と危険箇所の把握を求めた。また、5月13日に事故防止マニュアルの作成の有無や安全点検の実施のアンケート調査を行い、意見や散歩マップの提出も依頼した。5月16日の公立、民間合同の保育所長会議では、危険箇所の把握と情報共有を行った。散歩コースの再点検を行った結果の危険箇所等は、担当部署に情報提供した。

答 小・中学校の対応は、見守り活動の継続と必要に応じた下校指導等を含む通学路の安全点検の実施のほか、複数で登下校する等の指示をした。

各学校では、校長が事故の記事を教職員に示して危機管理意識の醸成を図り、各家庭に登下校時の見守りの協力依頼を行った。また、子どもたちには、大声を出すこと、1人にならないこと、防犯ブザーを活用すること、こどもSOSの家を確認すること等の指導を行っている。

Q

鶴ヶ島新体育館整備構想について

はせがわ きよし 長谷川 清 議員



A 建設できる方法を考えていきたい

問 危機的な財政状況にあるという本市において、莫大な経費を要する新体育館の建設構想が唐突に打ち出された。無計画な建設は、財政破綻を引き起こした夕張市の二の舞になりかねないものである。齊藤市長は、市の最優先課題を交通安全とされた以外は、政策・

答 現在、前市長の代に策定した第5次総合計画の期間内にあり、新体育館の構想はこの計画の中にはない。市長が代わったからといって、市の総合計画を簡単に変えてはいけなく考えている。現在、1年前倒しで策定している第6次総合計画の中に新体育館の構想を位置付けて検討していきたいと考えている。その準備段階として、体育館構想をまとめていこうと考えている。

問 市の財政は潤沢で、市の将来は明るいのか。

答 厳しい状況にあるが、補助金や民間資金の活用など、建設できる方法を検討していきたい。



鶴ヶ島市新体育館整備構想

健康づくりの推進に ついで

おがわ
小川

しげる
茂 議員



A フレイル予防事業への取組が 重要である

問 健康づくりの取組と事業経費について。

答 健康増進課では、「健康づくり推進事業」「食育推進事業」「地域でスクラム・健康マイレージ事業」に加え、今年度は221万円を計上している。平成29年度決算における市全体の健康づくり事業経費は、健康増進課を含め、

19部署による健康講座や介護予防事業など、延べ112事業が実施され、2億円を超える事業規模となっている。

問 地域でスクラム・健康マイレージ事業について。

答 参加者のアンケートや歩数、医療費の分析から、市民の健康意識の向上や医療費削減などの効果が明らかになっている。今後も引



定例健康ウォーク

き続き、ウォーキングによる健康づくりの普及に努め、埼玉県との連携により本事業を推進していく。
問 今後の課題と取組について。
答 団塊の世代が75歳を迎える2025年以降は、要介護者が急増することが予想され、市民の健康意識の向上や地域とのつながりづくり、伸び続ける医療費等の抑制が課題である。これらの課題解決のためには、今までの介護予防に加え、フレイル予防事業への取組が重要である。

Q シビックプライドの 醸成とまちづくり

うちの よしひろ
内野 嘉広 議員



A まちづくりに大変有用なものである

問 本市におけるシビックプライドの考え方について。
答 郷土愛から生まれるシビックプライドのような高い意識を持つ市民が増えれば、ボランティア意識の高まりなど、まちづくりへの好影響が期待される。転出者数の抑制も考えられ、まちづくりに大変有用なものと考えている。
問 政策的観点からの活用は。
答 市民のまちづくりへの考えを事業に反映できる市民提案による協働事業や寄附によるまちづくりの取組など、市では市民参画によるまちづくりに取り組んでいる。また、市の附属機関等への公募による委員の選任も推進している。



現在策定中の第6次総合計画でも、まちづくり審議会が公募委員が委嘱されており、まちづくりへの高い関心を持つ方に市の政策形成過程に参加いただいている。
問 教育的観点からの活用は。
答 現在では、市内全ての中学校で生徒の地域ボランティア活動への参加の仕組みが整ってきており、特に南中学校区では、わいわいやがやまつりなどの地域イベントに生徒が積極的にボランティアとして参画している。今後も、市の歴史や文化に誇りを持ち、積極的に地域の活動に参画しようとする児童・生徒の育成に努めていく。



自転車での下校

Q

子ども達を取り巻く環境の変化への対応

かないずみ ふ き こ
金泉婦貴子 議員



A

英語検定の受験料やヘルメット購入の補助を検討する

問 児童虐待について。

答 鶴ヶ島版ネウボラによる包括的かつ継続的な支援を行うとともに、総合相談窓口による家庭支援の充実や関係機関による連携を図り、児童虐待の未然防止や再発、重篤化防止の取組を進めている。

問 英語教育について。

答 市内全小・中学校に外国語指導手（ALT）を配置している。新学習指導要領の全面实施に向け、今後も全教員の指導力向上を図る。

問 学校へのスマートフォンを持ち込みについて。

答 現在は、メリットよりもデメリットのほうが大きいと考え、原則禁止としている。

問 在留外国人について。

答 日本語が話せない児童・生徒には、日本語未習得児童生徒支援

事業として通訳者を派遣し、一定の日本語習得までをサポートする。

問 交通事故防止対策について。

答 全小学生を対象に交通安全教室を実施している。また、土地区画整理地内の生活道路を中心に、路面標示等の施工をしている。

問 教職員の働き方改革について。

答 業務改善コーディネーター研修会を受講した教員から各校に業務改善手法を伝達する。児童・生徒に寄り添う時間を確保し、本来の業務に集中できる環境を整える。

Q

学校給食費無償化について

いしづか
石塚

せつこ
節子 議員



A 現状では無償化する財源の確保は困難である

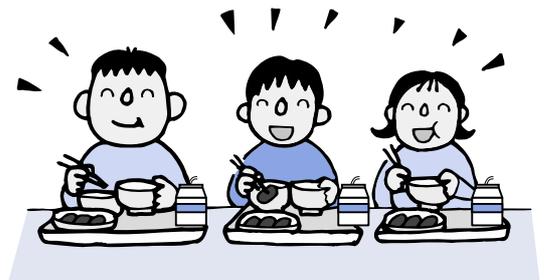
問 給食は教育の一環であり、「義務教育は、これを無償とする」と

の憲法第26条の規定に照らせば、給食費も無償化するべきと考える。また、高齢化が進んでいる本市において、若い世代を呼び込む施策の1つとして給食費を無料にし、「子どもを育てるなら鶴ヶ島市」

と言われるようになれば、少子化対策としても有効であり、若い世代の定住につながるのではないかと

財源は、区画整理事業や運動公園の借金返済が終わることなどで賄えるのではないかと

答 学校給食は、教育の一環と捉えることができる。また、学校給



食費は、学校給食法第11条第2項の規定により、原則として保護者負担となっているが、昭和29年の文部省通達では、地方公共団体等が学校給食費を補助することを禁止する意図ではないとしている。

無償化は、若い世代を呼び込む施策の1つと考えられるが、毎年度約2億7000万円の財源が必要となる。学校施設の環境改善などの経費に加え、今後、扶助費の更なる増加、一部事務組合負担金の増加、都市基盤整備の経費などの財政需要も見込まれるため、無償化は困難である。

◎**その他の質問** 認知症予防に補聴器購入の補助を

Q 第6次鶴ヶ島市総合計画について

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



A 30年後を想定しながら10年後の姿を考えていく

問 第6次総合計画の策定状況は。

答 平成30年5月に決定した第6次鶴ヶ島市総合計画策定基本方針に基づき、若手職員の意見も取り入れながら、まちづくり審議会の審議を中心に、具体的な検討を進めている。

問 第6次総合計画に当たって、見えてくる本市の課題は。

答 少子高齢化への対応や財政基

盤の改善を行い、将来にわたって市の活力を維持することである。

問 まちづくり審議会における審議状況は。

答 本年度、既に3回の会議が開催され、総合計画の中でも特に重要となる基本構想に集中して審議いただいている。今後は、基本計画も一体的に審議していただく。

問 第6次総合計画で考えている



市役所庁舎

土地利用構想は。

答 整備された居住空間と身近に残る自然を活かし、人と環境が共存する持続可能で計画的な土地利用を図るという方針は維持したい。

問 市長が考えている目指すべき本市の将来像は。

答 将来にわたって本市が活力を維持するため、年齢構成の変化と人口減少に対応し、職員、市民、関係団体等が目指すべき方向性を共有できる将来像を検討していく。

Q 富士見緑地通りの樹木管理について

まつお たかひこ 松尾 孝彦 議員



A 周辺住民に配慮した適正な管理を行っていく

問 樹木を起因とした周辺の方への影響について。

答 時期を問わず発生する大型の台風や強風などにより、倒木や折れ枝などの被害が発生し、周辺住民の生活に影響を及ぼす。

問 樹木の点検・診断・景観について。

答 樹木の点検は、公園樹木管理業務の中で、業務委託の作業時に、目視により実施している。樹木医による診断は行っていないが、委託業者の点検結果を受けて、市の職員が伐採等の判断を行っている。また、自然災害に備え、場所により強剪定を行うが、自然な樹形に

配慮した剪定により景観の形成にも努めている。

問 今後の維持管理計画について。

答 本年度から令和3年度にかけて、住宅が多く隣接している富士見四丁目から富士見三丁目地内の樹木の伐採を予定している。また、4年度と5年度には、工場に隣接した樹木の伐採を行う予定である。今後も安全確保に努め、周辺住民に配慮した適正な管理を行っていく。

◎その他の質問

- 一 介護人材の確保について
- 二 英語教育の取組について





マイエンディングノート



自治体での終活支援、 終活登録

やまなか もとみつ
山中 基充 議員



引き続き終活ノートの活用を進め、 終活登録は課題を研究する

問 エンディングノートは、終活ノートとも呼ばれ、生年月日などの基本情報、自分の人生の振り返り、特技や趣味、やりたいこと、行きたい場所、会いたい人等の今の自分のこと、さらに、もしもの時、延命治療を望むかどうか、介護してほしい人や場所、財産管理をお願いしたい人、葬儀の仕方、お墓のこと、連絡先リスト等、本人がまだ元気なうちは話しづらいことを残せるものである。また、横須賀市では、終活関連情報を生前に市に登録し、万一のとき、病院、消防、警察、福祉事務所や本人が指定した方に開示して、本人の意思の実現を支援する事業が行われている。

答 エンディングノートは、昨年度に引き続き、今年度も配布し、

その活用を進めるとともに、必要に応じて個別相談会などを検討する。終活登録については、本市における必要性や実施に当たつての課題等を研究する。

◎**その他の質問**

- 一 児童館に洋式トイレを
- 二 市職員の人事評価の状況
- 三 地域の交流拠点、防災拠点の自治会館



様々な知見を参考にして交通 安全対策を進めていく



交通事故から市民を 守るために

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



問 庁用車の交通事故発生状況は、平成29年度が11件（うち人身事故1件）、30年度が9件である。

答 庁用車の事故が多い。認識は。事実を重く受け止めており、今後も引き続き交通安全の徹底を図っていく。

問 子ども優先で交通安全対策を。

答 保育園の園外活動における散歩コース等の危険箇所の情報共有を図った。今後も子どもの目線で対策を行っていく。

問 中学生に自転車用ヘルメット購入の助成及び着用義務化を。

答 中学生全員がヘルメットをかぶれるよう、取組を進めていく。



新設された交通啓発看板

問 人工知能や地図情報システム等の最新技術を活用した交通安全対策は。

答 超スマート社会に向かう中の検討課題とする。

問 踏み間違い加速抑制システムの購入に対する助成は。

答 国や県の動向、市の役割を見極め、総合的に対策を進めていく。

問 現状では、市長の重点施策の割には取組が寂しい。交通安全対策の更なる強化を。

答 様々な知見を参考にし、今後も交通安全対策を推進していく。

◎**その他の質問** 空き家対策の今後について

Q 転出入者アンケート 結果から見えるもの

おおそねひであき
大曾根英明 議員



A 本調査等を踏まえ、総合計画の 策定を進めていく

問 調査の方法・回答状況は。

答 平成30年度鶴ヶ島市転出者・転入者向けアンケートは、おおむね40歳台以下の転出者及び転入者を対象に、スマートフォンを用いた電子申請システムにより実施した。293人にアンケート用紙を配布し、46人から回答を得た。回答率は15・7割である。

答 昨年度の市民意識調査における若い世代の回答率が低かったことから、本調査は、若い世代に限定して実施した。対象の世代に抵抗が少ないと考え、電子申請のみ

問 今後について。
答 本調査では、回答率の低さに改善が必要であると認識している。



よる誤差の大きさには留意を要するが、一定程度の傾向は把握できた。シティブロモーション等による転入促進を図る取組のほか、住んでいる市民の満足度を高め、転出抑制を図り、転入者の呼び込みや再転入につながることも必要である。また、居住地の選定理由等から、職住近接につながる仕事・産業に関する施策が重要であると考えられる。本調査結果や各種調査、意見等を踏まえ、引き続き第6次総合計画の策定を進めていく。

Q フレイル予防について

こばやし
小林ひとみ 議員



A 健康寿命を延ばす鍵であり、 フレイルチェックを導入したい

問 フレイルとは。

答 健常から要介護へ移行する中間の段階と言われている。加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。このフレイルを予防することが健康寿命を延ばす鍵であり、介護予防に重要であると考えている。

問 フレイル予防の取組について。

答 従来の介護予防事業の取組に加え、広く栄養、身体活動、社会参加につながる様々な事業もフレイル予防の取組であると考えられる。そのため、市広報に健康なまらづくりにガイドを掲載した。今後は、



問 フレイル予防の担い手を育成するためにしていることは。

答 来年度からのフレイルチェックの導入に向け、今年度はフレイル予防の周知とフレイルサポーターの養成に向けた準備を進めていく。広く市民からボランティアを募り、サポーターの養成講座や養成後のフォローアップ講座等を開催する予定である。

◎その他の質問 液体ミルク等の導入について

ゴールをめざせ! 市議会杯少年サッカー大会

6月8日(土)に運動公園で小学5年生以下の市議会杯少年サッカー大会が行われました。

決勝戦では、長鶴サッカー少年団とFC鶴ヶ島が対戦。長鶴サッカー少年団が4-2で勝利し、市議会杯を手に入れました。



優勝した長鶴サッカー少年団のメンバー

次回定例会のお知らせ

今回の令和元年第3回定例会は、8月27日(火)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5~2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。

ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir00016.html>



鶴ヶ島市議会

検索

編集後記

後記

4月の改選で、3人の新人議員が加わり、令和の時代の議会が始まりました。

議会報編集委員会もメンバーが交代し、新たな8人で「つるがしま市議会だより」をつくっていきます。

限られた紙面での報告になりますが、自分が選んだ議員の仕事を確認してください。そして、次は傍聴にお越しください。

編集後記は、これまで委員長を担当でしたが、今期は委員全員が順番に執筆します。委員一人ひとりの想いを、この欄でお届けします。(大)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 大野 洋子 |
| 副委員長 | 出雲 敏太郎 |
| 委員 | 山中 基充 |
| 委員 | 小林 ひとみ |
| 委員 | 太田 忠芳 |
| 委員 | 石塚 節子 |
| 委員 | 内野 嘉広 |
| 委員 | 持田 靖明 |

Q

消費税引上げの市への影響について

たかはし 高橋

けんじ 剣二 議員



A

市民へ周知を図っています

問 歳入及び歳出への影響は。

答 歳入の地方消費税交付金が増加するが、施設使用料や証明発行手数料等への影響は精査中である。また、市が支払う消費税は、引上げの影響を受ける。

問 令和2年度以降、毎年度約1億5000万円の増収の見込みで

あり、介護保険料の低所得者軽減や幼児教育・保育の無償化などの事業に一般財源として充当する。

問 幼児教育・保育の無償化の具体的な内容について。

答 3歳から5歳までは、保護者

の所得にかかわらず、幼稚園や保育所などの利用料が無償化される。0歳から2歳までは、住民税非課税世帯で、保育の必要性があると認定されると無償化される。

問 市内企業の経済的影響の見込みと市独自の補助について。

答 増税前の駆け込み需要と増税後の反動による消費の落ち込みが見込まれる。市独自の補助は、現在のところ予定していない。

問 引上げが延期になった場合の市の対応について。

答 関連施策のみ先行実施する場合には、必要な財政措置を講ずるよう、国に対して要望していく。

